

国語(現代文) 九州大学 経済(経済工)学部 1/1

＜総括＞	出題数 現代文2題	試験時間 80分
大問一 本文はやや難化。設問数には変化なし。記述量はやや減少。 大問二 本文はやや易化。記述量は大幅増。問4は新傾向。		

＜本文分析＞

大問番号	一	二
出典 (作者)	『争わない社会 「開かれた依存関係」をつくる』(佐藤仁)	『だからフェイクにだまされる——進化心理学から読み解く』(石川幹人)
頻出度合 ・的中等	なし	なし
分量 前年比較	分量(減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加) 約2640字→約3940字	分量(減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加) 約2970字→約3000字
難易 前年比較	難易(易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)	難易(易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

＜大問分析＞

大問	ジャンル	設問	設問形式	難易度	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)
一	評論	問1	論述	標準	理由を問う問題。
		問2	客観	やや易	空所補充問題。
		問3	論述	標準	具体、抽象、どちらで書くか迷う。
		問4	論述	標準	傍線部を説明する問題。
		問5	論述	やや易	歴史の見方を問う問題。
		問6	論述	やや難	「論旨」という条件を踏まえる問題。
二	評論	問1	論述	標準	「具体的」という条件に注意する。
		問2	論述	やや易	「前提条件」を問う問題。
		問3	論述	標準	「具体的」という条件に注意する。
		問4	論述	やや難	「論旨」を踏まえて推論する問題。新傾向。
		問5	論述	標準	「理由」を問う問題。
		問6	論述	やや難	「仮の演技」という表現に注意する問題。

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

＜学習対策＞

<p>日頃から、色々な文章になじんでおく。 書き取りは出ないが、読解の基礎なので対策を講じておこう。 長大な論述に慣れておく。</p>
